



2012年 3月期
第2四半期決算説明会

2011年 11月 2日
日本軽金属株式会社



1. 2012年 3月期第2四半期決算

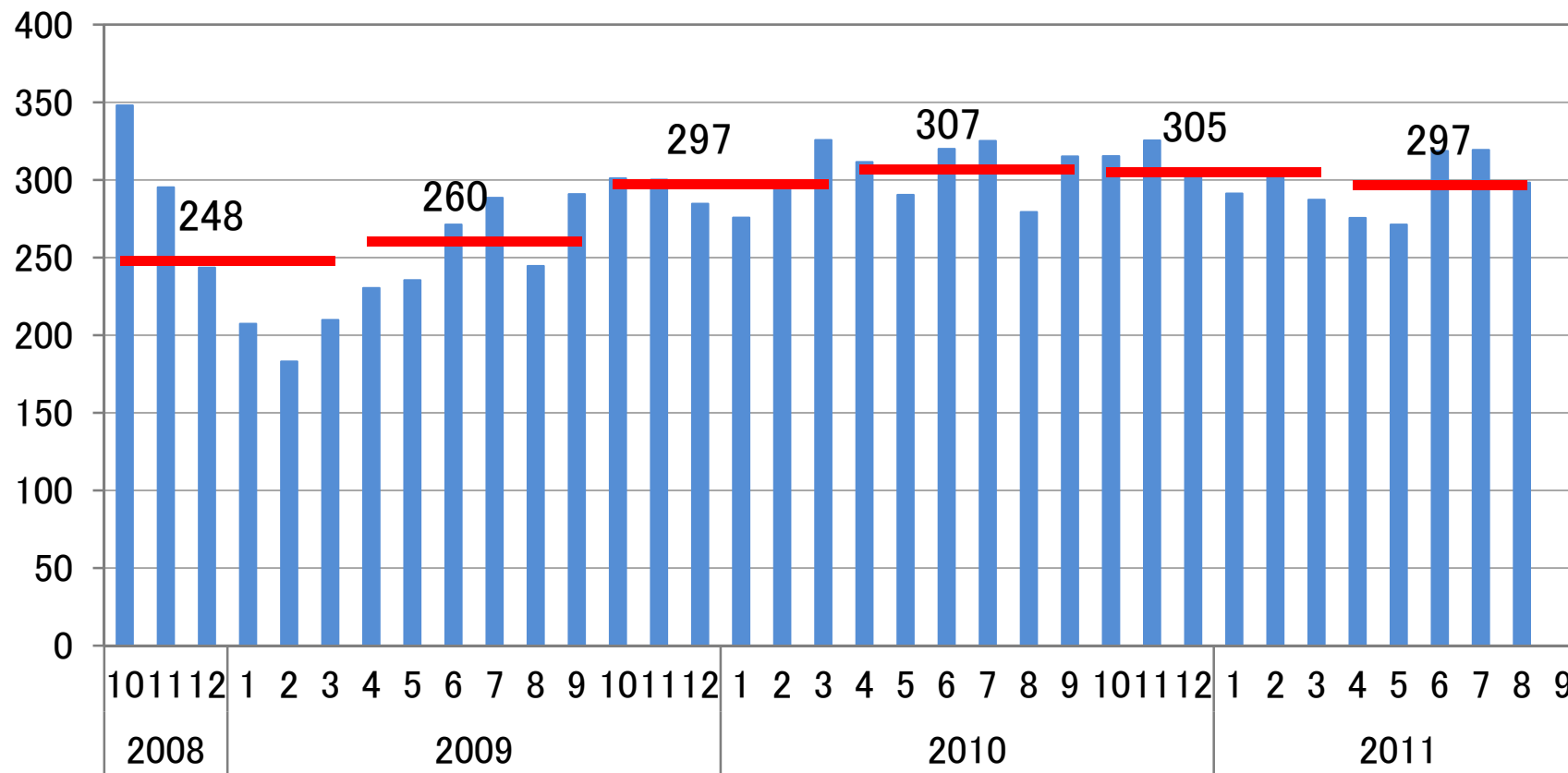
2. 2012年 3月期 業績予想

3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況

国内アルミ製品総需要の推移

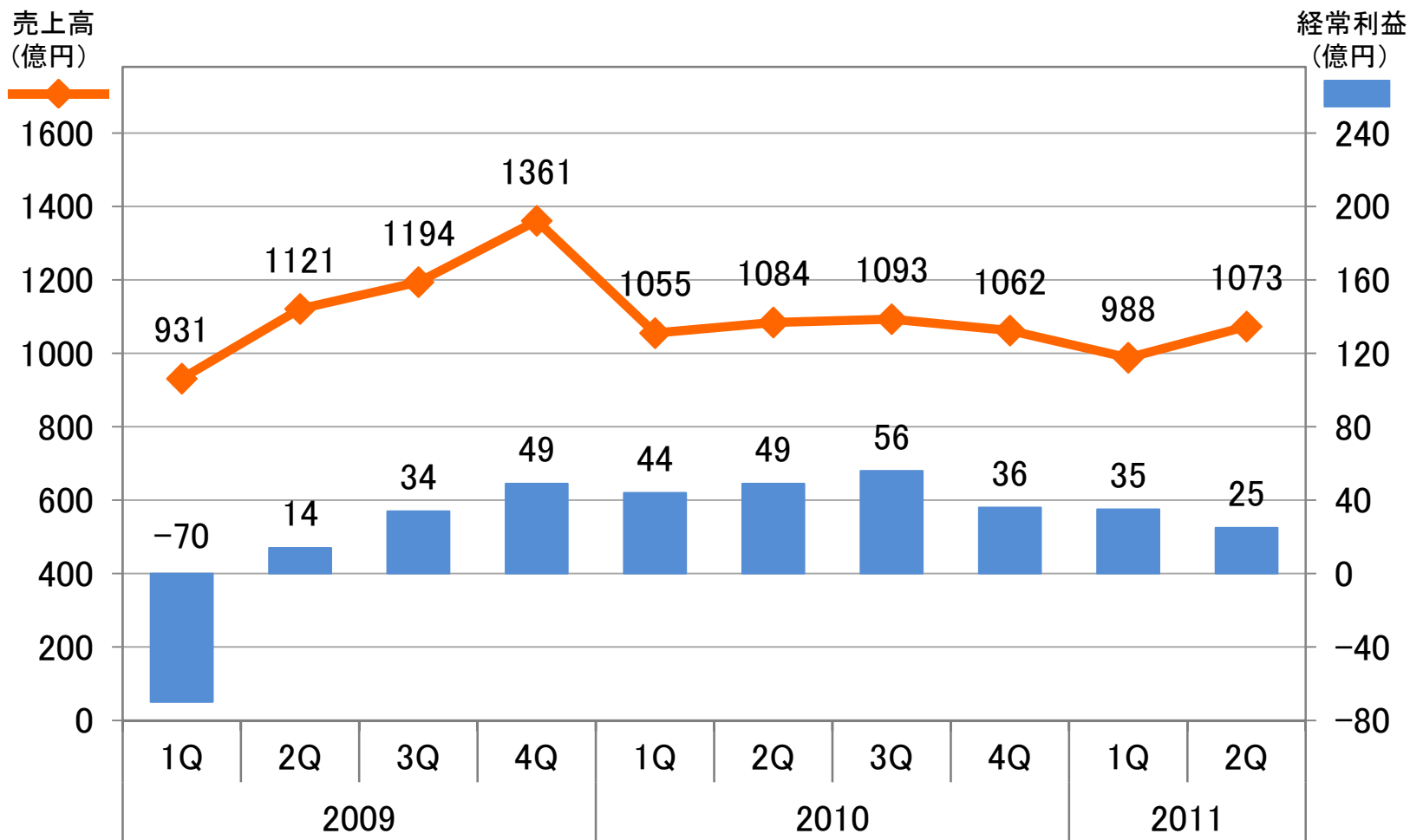


(千トン)



<出所:日本アルミニウム協会>

四半期連結業績推移



第2四半期決算 — 前年同期比



第2四半期 連結累計期間

(億円)

	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	差異
売上高	2,061	2,139	△78 (△3.6%)
営業利益	91	130	△39 (△30.1%)
経常利益	60	93	△33 (△36.0%)
当期純利益	35	42	△7 (△16.7%)

セグメント情報 — 前年同期比



※ 2010年度については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

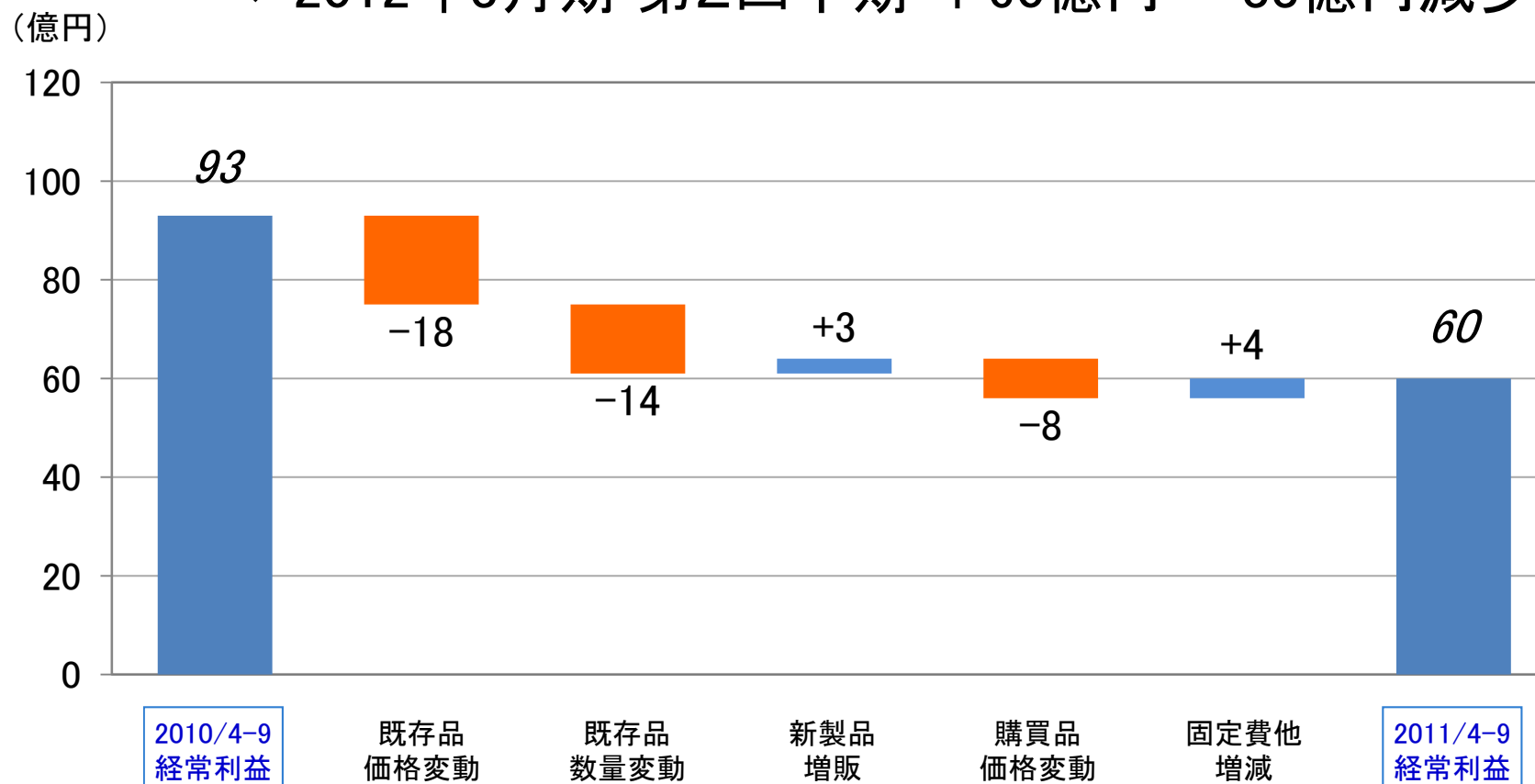
	売上高			営業利益		
	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	差異	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	496	542	△46 (△8.3%)	32	37	△5 (△14.3%)
板、押出製品	367	390	△23 (△5.9%)	14	27	△13 (△47.2%)
加工製品、 関連事業	622	638	△16 (△2.6%)	22	23	△1 (△5.0%)
箔、粉末製品	576	569	+7 (+1.1%)	36	55	△19 (△34.2%)
管理・共通	—	—	—	△13	△12	△1
合 計	2,061	2,139	△78 (△3.6%)	91	130	△39 (△30.1%)

経常利益変化要因 - 前年同期比



2011年3月期 第2四半期 +93億円

⇒ 2012年3月期 第2四半期 +60億円 33億円減少



キャッシュ・フロー計算書



2012年3月期 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※1) 69億円	固定資産の取得支出等 115億円
長期借入金 224億円	社債の償還 190億円
短期借入金 51億円	約定弁済等 119億円
現金・同等物の減少 93億円	

(※1)
税引前当期純利益 53
減価償却費 83
運転資金 △51
その他 △16

配当金支払い 13億円

2011年3月期 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※2) 118億円	固定資産の取得支出等 77億円
新日軽に対する 貸付金の回収 200億円	新日軽資金の返済 225億円
現金・同等物の減少 42億円	新日軽保有現預金の減少 47億円

調達、約定弁済 11億円

(※2)
税引前当期純利益 81
減価償却費 77
運転資金 △51
その他 11

主要会社の業績 — 前年同期比



第2四半期 連結累計期間

(億円)

	2011年度 第2四半期				2010年度 第2四半期			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	690	16	44	40	753	30	47	27
東洋アルミニウム (連結)	579	37	28	16	573	54	47	28
日軽エムシーアルミ (連結)	232	3	2	2	246	5	4	4
日本フルーフ (連結)	209	4	3	1	233	13	11	10
日軽金アクト	155	7	7	5	157	11	11	7



1. 2012年 3月期第2四半期決算

2. 2012年 3月期 業績予想

3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況

タイ洪水の影響

(11月 1日 現在)



ニッケイ・サイアム・アルミニウム (ナワナコン工業団地に隣接)

- ・ 生産: 板、箔 (能力 17,000t/年)
- ・ 敷地内の浸水はなく、操業中



ニッケイ・エムシー・アルミ・タイ (ウエルグロウ工業団地)

- ・ 生産: 自動車向け二次合金 (能力 30,000t/年)
- ・ 敷地内の浸水はなく、操業中

日軽金・タイ熱交製品工場 (アマタナコン工業団地)

- ・ 生産: ルームクーラー用熱交換器 (能力 200,000台/年)
- ・ 敷地内の浸水はなく、操業中



通期業績予想 — 前期比



(億円)

	2011年度 予想	2010年度 実績	増減
売上高	4,100	4,294	△194 (△4.5%)
営業利益	175	247	△72 (△29.2%)
経常利益	115	185	△70 (△37.9%)
当期純利益	65	110	△45 (△41.1%)
有利子負債	1,930	1,908	+22
ネットDEレシオ	1.6倍	1.5倍	—
R O C E	5.6%	8.4%	△2.8p

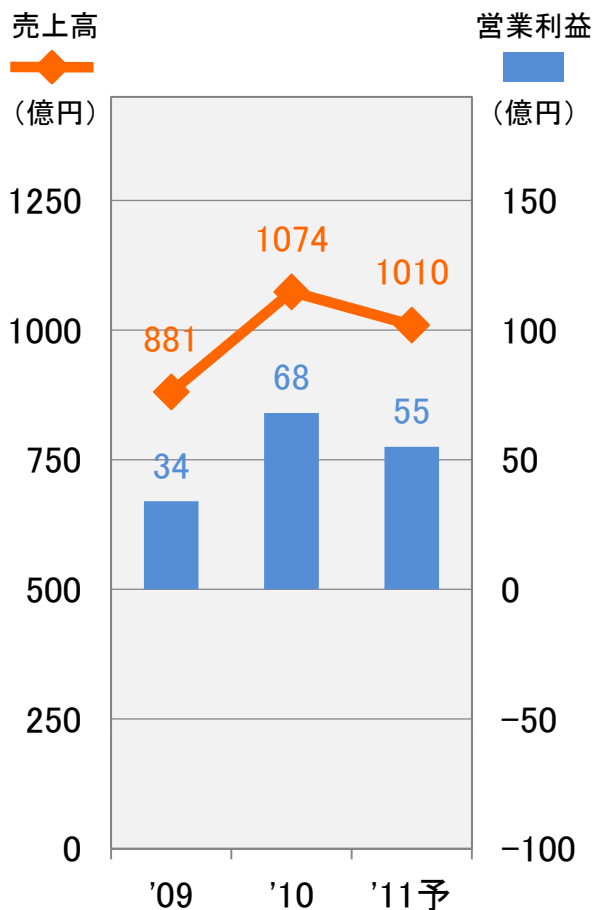
セグメント情報 — 前期比



※ 2010年度については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

	売上高			営業利益		
	2011年度 予想	2010年度 実績	差異	2011年度 予想	2010年度 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	1,010	1,074	△64 (△6.0%)	55	68	△13 (△18.9%)
板、押出製品	735	776	△41 (△5.3%)	30	51	△21 (△40.9%)
加工製品、 関連事業	1,240	1,279	△39 (△3.1%)	45	52	△7 (△14.5%)
箔、粉末製品	1,115	1,165	△50 (△4.3%)	75	102	△27 (△26.8%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△30	△26	△4
合 計	4,100	4,294	△194 (△4.5%)	175	247	△72 (△29.2%)

アルミナ・化成品、地金



アルミナ・化成品

- アルミナ・水酸化アルミの出荷は前年を上回る見込み
- 化学品も概ね堅調な推移を見込む
- 円高により輸出品の採算悪化
- 重油を始め原燃料価格が上昇
- 下期から高付加価値品を増産

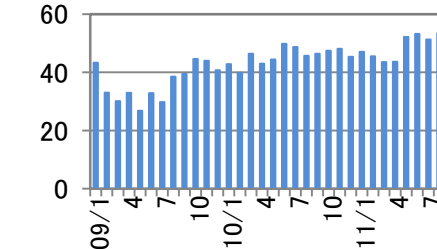
日軽エムシーアルミ

- 足下は高稼働が続く(タイを除く)が、上期の減少が大きく、通期では前年を下回る見込み
- 需要増を背景に原料スクラップ価格が高止まり。燃料価格も上昇中

販売量 (千トン)

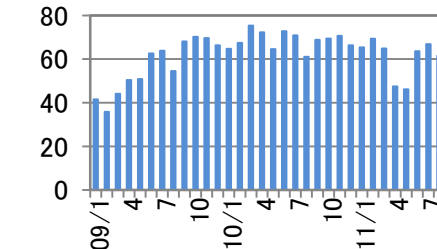
	11年度 上期			11年度 下期			11年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	62.8	71.3	△12%	72.5	71.7	+1%	135.3	143.0	△5%
海外	45.0	47.4	△5%	51.6	48.7	+6%	96.6	96.1	+1%
合計	107.8	118.7	△9%	124.1	120.4	+3%	231.9	239.1	△3%

(千トン) アルミナ需要



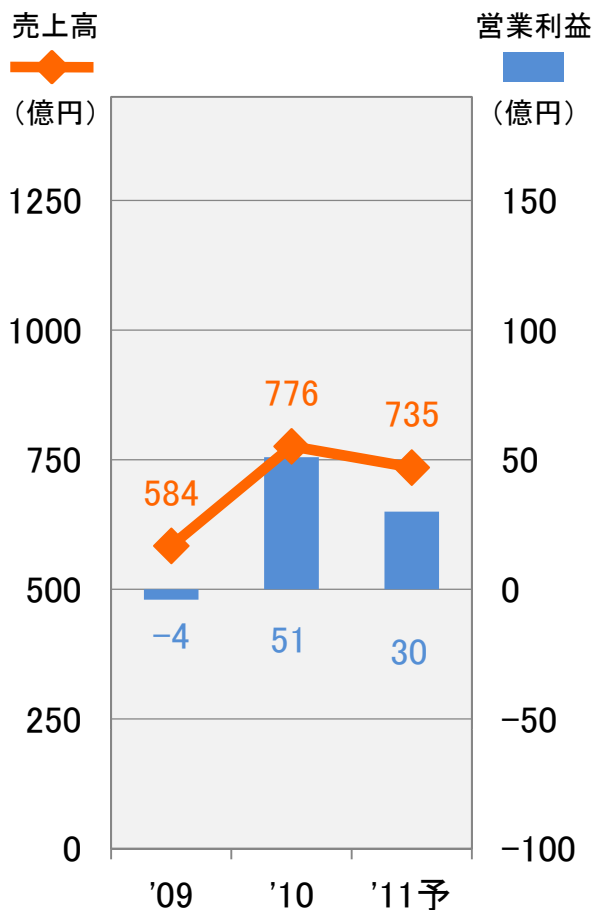
<出所: 日本アルミニウム協会>

(千トン) 二次合金需要



<出所: 日本アルミニウム協会>

板、押出製品



※ 2010年度は、押出加工関連子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替えています。

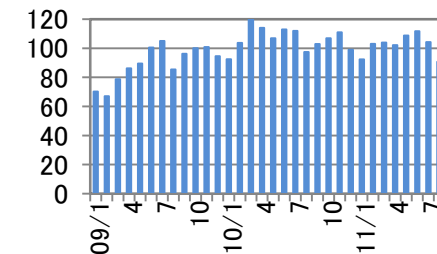
板

- 厚板の好調は第1四半期で収束
- 自動車向けが回復も、電気・電子、コンデンサー向けで下期も不透明感が強く、全体販売量は前年を下回る見込み

板事業部販売量 (千トン)

	11年度 上期			11年度 下期			11年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		39.3	42.0	△6%	39.6	41.6	△5%	78.9	83.6

(千トン) 板製品需要



<出所: 日本アルミニウム協会>

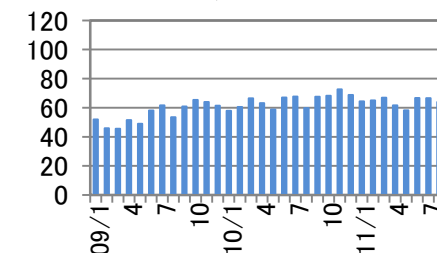
日軽金アクト

- 鉄道向けが低調だが、第2四半期以降トラック・自動車向けが急回復。輸送関連は全体では前年並みに
- 景気回復足踏みで、全体では前年並み

日軽金アクト販売量 (千トン)

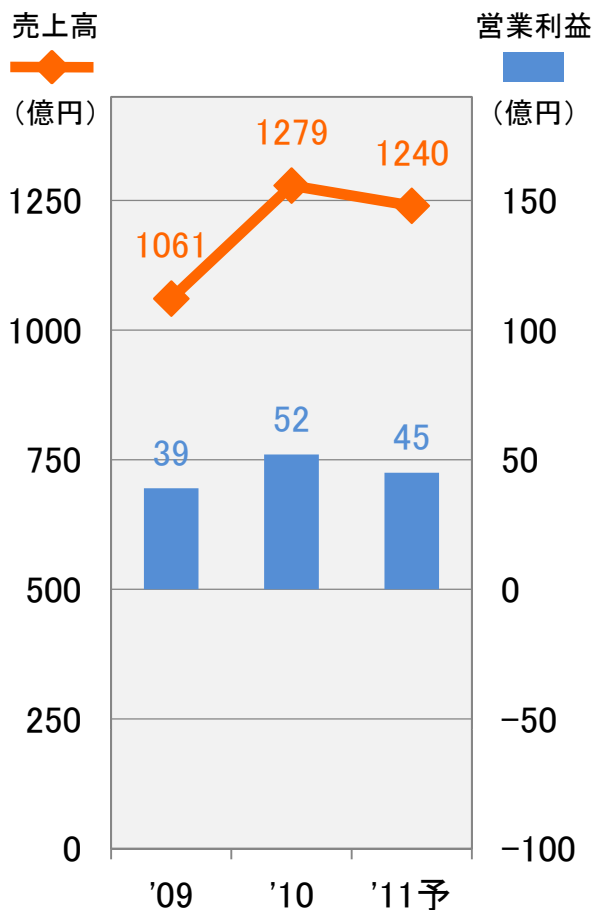
	11年度 上期			11年度 下期			11年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		18.6	19.2	△3%	19.1	19.0	+1%	37.7	38.2

(千トン) 押出製品需要



<出所: 日本アルミニウム協会>

加工製品、関連事業



※ 2010年度は、押出加工関連子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替えています。

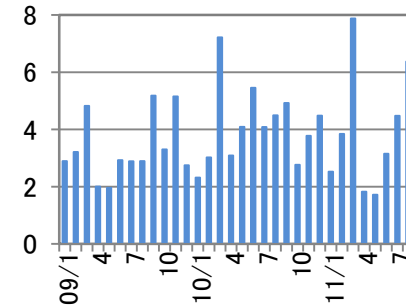
日本フルハーフ

- 国内トラック生産の回復により、6月以降操業率が急回復したが、上期の売上は前年同期比10%減
- 下期は高操業率が続く見込み
- 新商品の開発にも注力
- タイにおけるビジネスモデルを検討

日軽パネルシステム

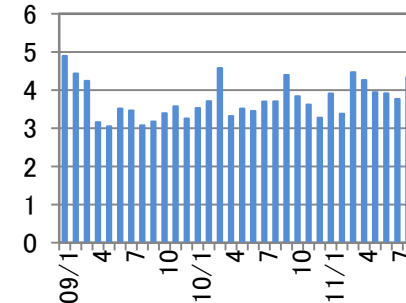
- 冷凍・冷蔵分野で第1四半期から中小型を中心に受注が増加。下期は食品工場等の大型物件も見込まれる
- クリーンルーム分野では、震災復旧の一時的な需要も見られたが、円高を背景とした受注済み物件のキャンセルが見られるなど、厳しい状況が続く
- 全体としての販売量は、期初予想を上回る見込み

(千台) 普通トラック登録台数



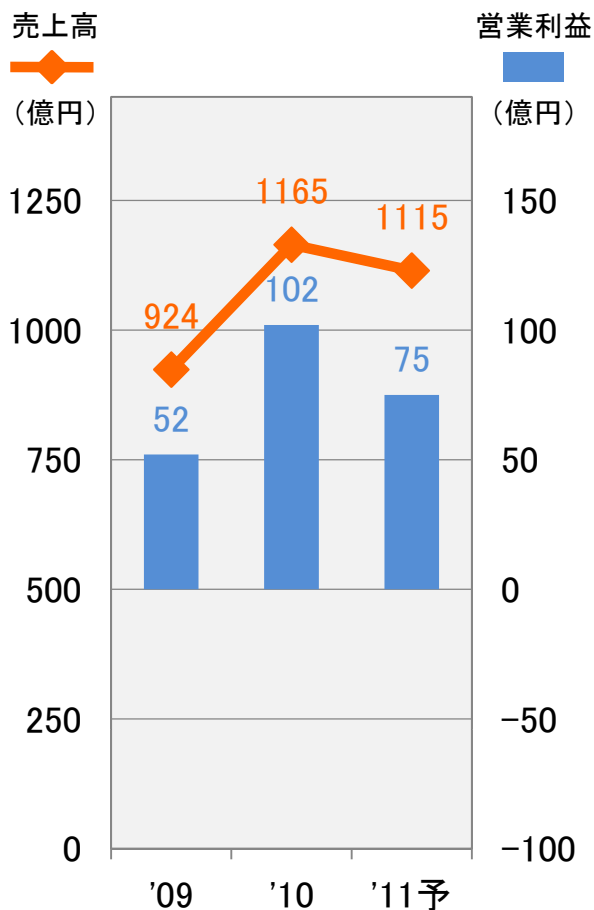
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(百万㎡) 建築着工床面積(非居住)



<出所: 国土交通省>

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

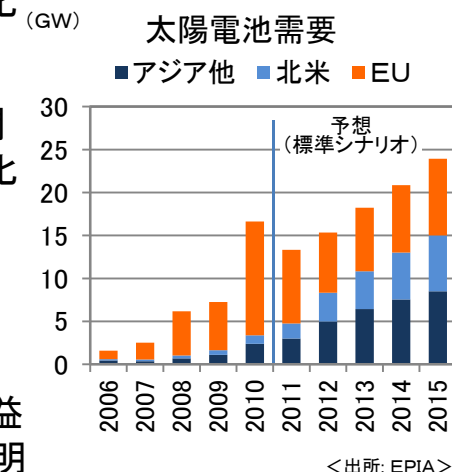
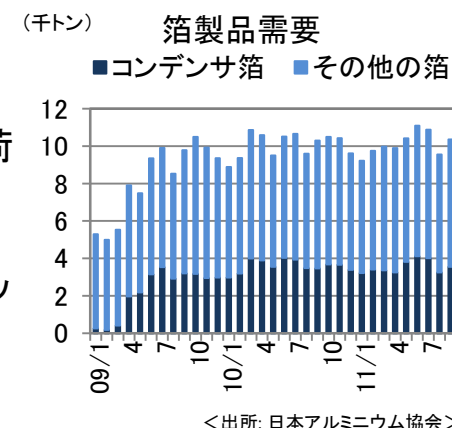
- 震災後回復していたコンデンサ箔の出荷が在庫調整により8月から急落。下期の回復も現時点では不透明感が強い
- LiB外装用プレーン箔の伸長、ジェネリック薬品向け加工箔の好調が続く

<ペースト事業>

- 国内では、主力の自動車向けが回復
- 中国市場では地場メーカーとの競争激化

<電子機能材事業>

- 太陽電池市場は、欧州タリフ引き下げ問題等により急速に縮小。過剰在庫顕在化
- バックシート出荷は上期は堅調を維持したが、下期大幅な受注減
- 電極インキ(アルソーラー)も、需要減少の中、新興メーカーとの価格競争激化
- 高性能品の投入、コストダウンにより収益回復を図るが、下期の市況回復は不透明

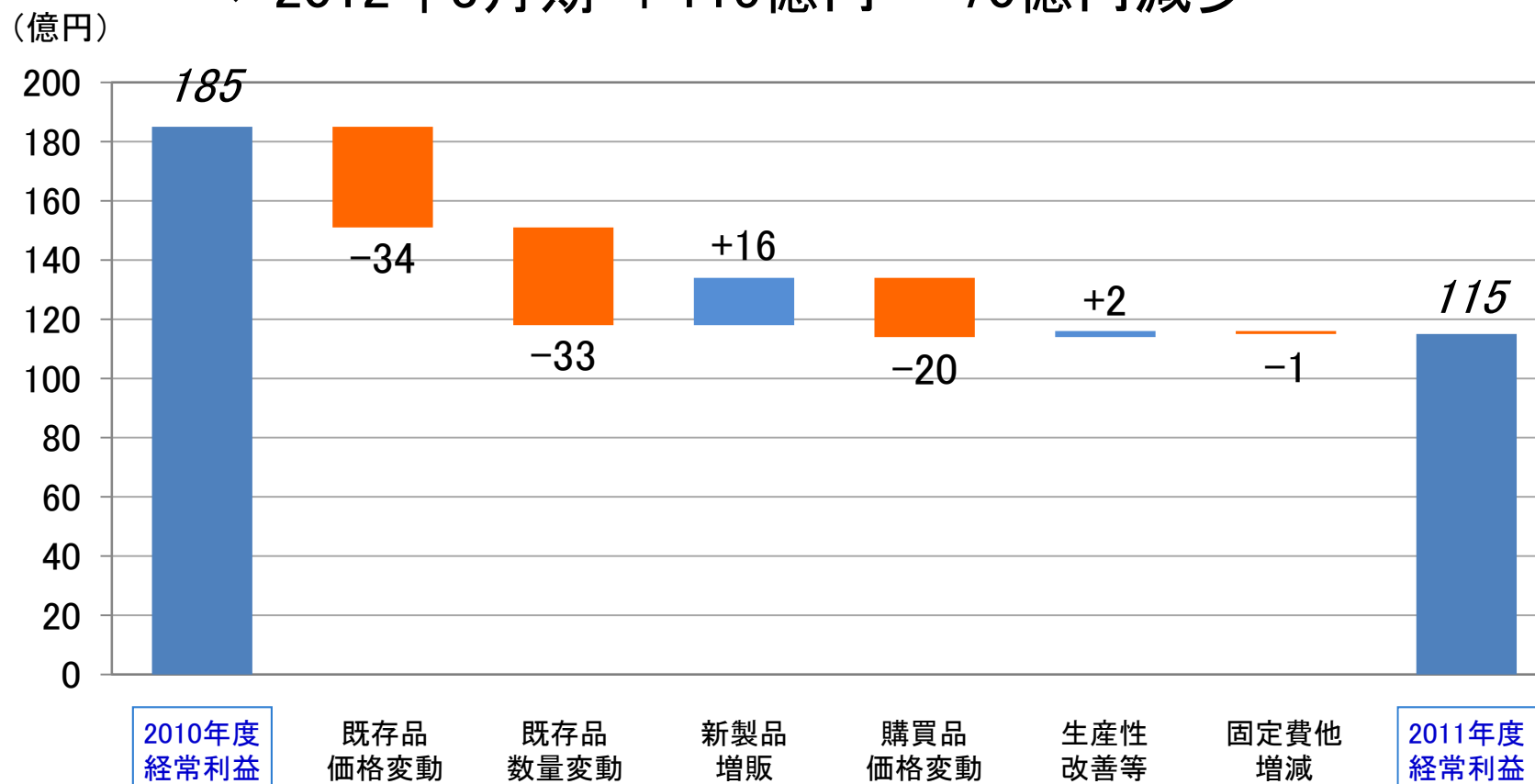


経常利益変化要因



2011年3月期 +185億円

⇒ 2012年3月期 +115億円 70億円減少



主要会社の業績予想



(億円)

	2011年度 予想				2010年度 実績			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	1,349	16	34	35	1,476	50	57	46
東洋アルミニウム (連結)	1,122	74	60	35	1,172	100	91	53
日軽エムシーアルミ (連結)	485	6	5	4	489	9	8	7
日本フルーフ (連結)	436	14	11	5	452	22	19	14
日軽金アクト	323	17	18	12	311	18	19	13

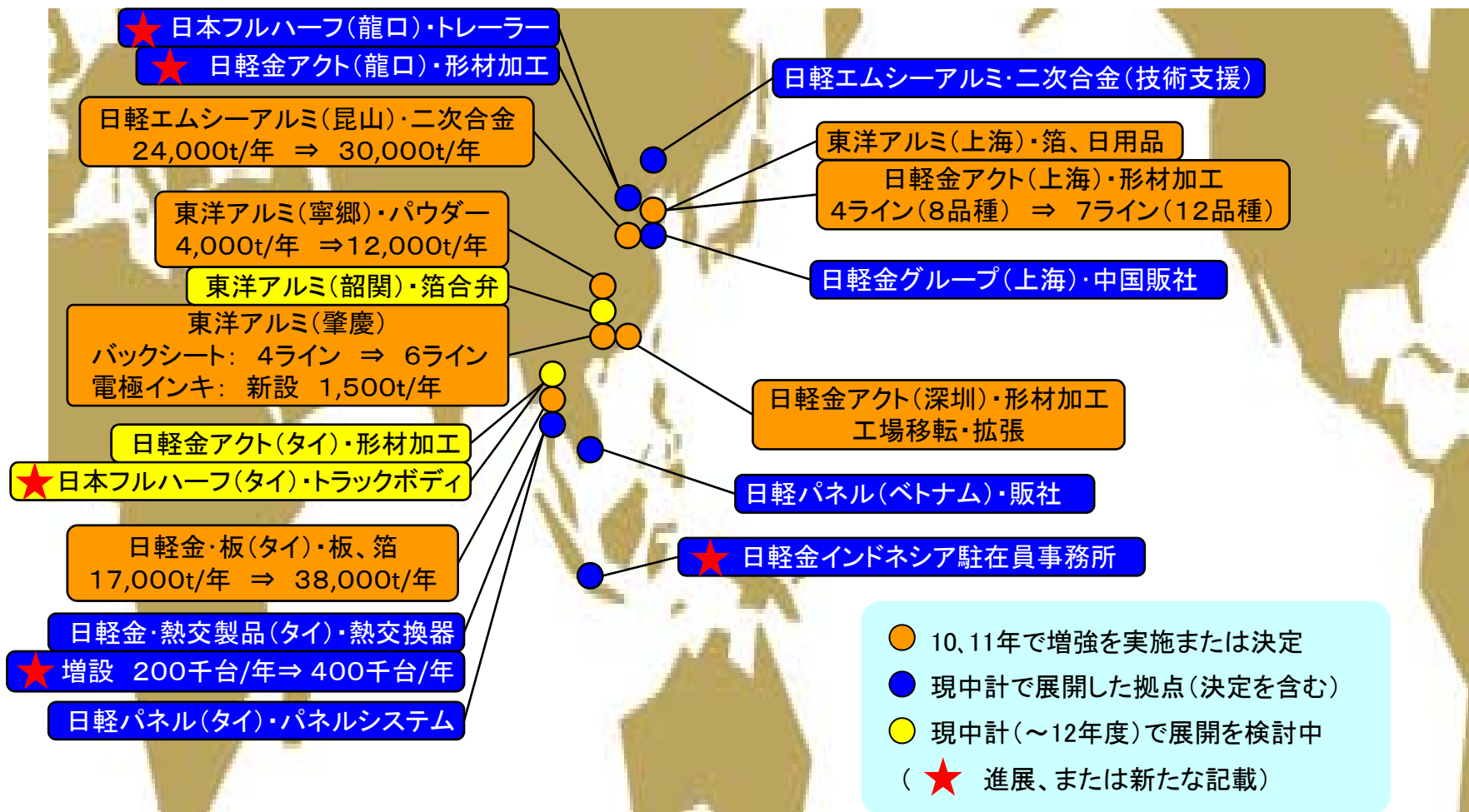


1. 2012年 3月期第2四半期決算

2. 2012年 3月期 業績予想

3. 中期経営計画 重点施策の進捗状況





海外展開の加速

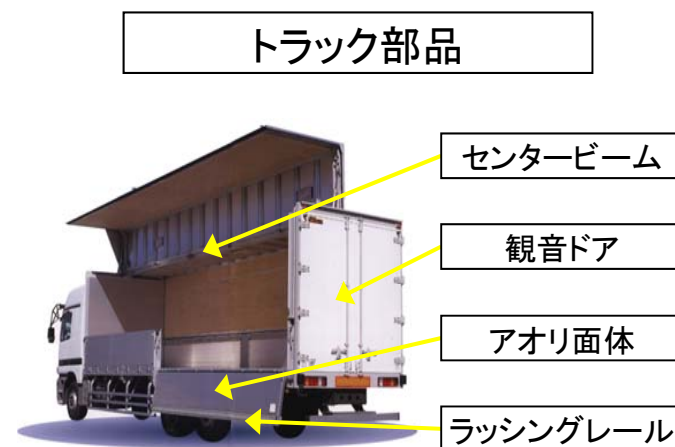


中国・丛林集団との合併事業(1)



日軽金アクト：自動車部品中国第3拠点

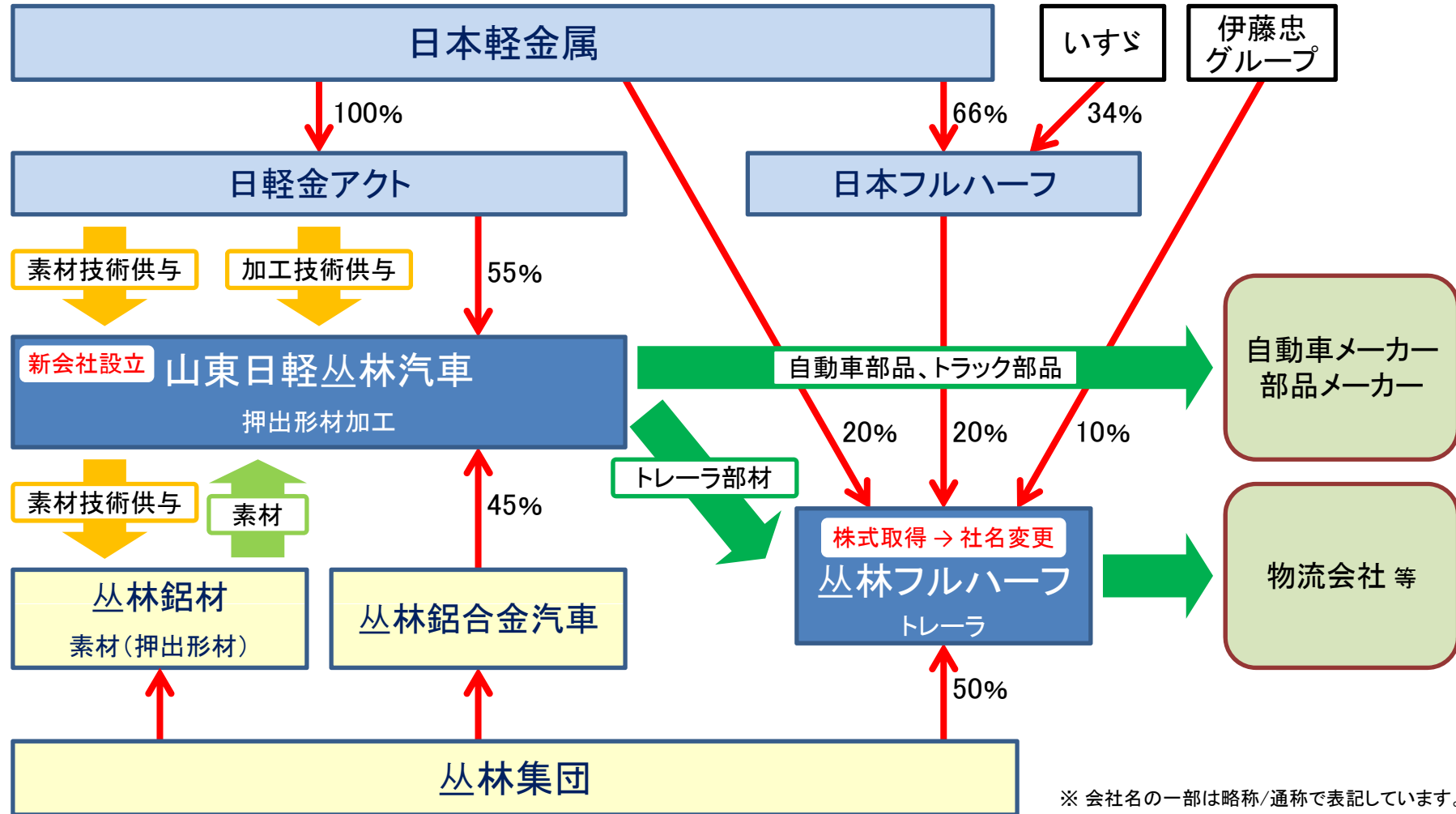
自動車部品			
足廻り部品	ブラケット	ABS部品	バンパー
			
接合技術 設計技術	切削加工技術 合金開発	切削加工技術 合金開発	押出技術 合金開発



日本フルハーフ：中国トレーラビジネス展開



中国・丛林集団との合併事業(2)



※ 会社名の一部は略称/通称で表記しています。

タイにおけるビジネス展開



ニッケイ・サイアム(板・箔)、日軽MCアルミ(合金)に続く タイ生産拠点

熱交事業部

- ・ ルームクーラー用熱交換器
- ・ 本年10月から出荷開始
- ・ 日系メーカーからの引き合いが増加
- ・ 12年下期からの増産を決定
200千台/年 ⇒ 400千台/年



日軽パネルシステム

- ・ 食品コールドチェーン向けおよび工業用クリーンルーム向け内装パネル
- ・ 12年7月生産開始予定
⇒ ベトナム現地法人(11年10月設立)を通じ東南アジア各国へ拡販



業界No.1ビジネスの強化(1)



差別化商品の開発・拡販のため、国内でも積極的な投資を継続

化成品事業部

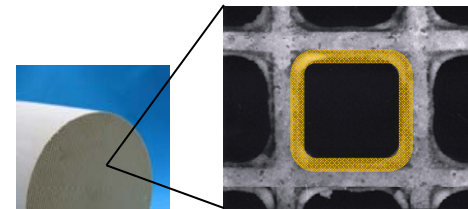
- ・ 清水工場原料転換
 - ・ 販売先の評価は良好
 - ・ 関連設備は2011年度中に概ね完成
⇒ 2012年度中に完全移行
- ・ 高付加価値品の増産
 - ・ 高純度アルミナ・・・LEDサファイア基板用
 - ・ 遷移アルミナ・・・触媒担体、精密研磨材など（ナノサイズの粒径 ⇒ 用途拡大）
 - ・ 特級次亜塩素酸ソーダ・・・殺菌・消毒剤、食品添加剤など（水道水水質基準強化が背景）



清水工場・輸入水酸化アルミ倉庫



高純度アルミナ



遷移アルミナ

業界No.1ビジネスの強化(2)



東洋アルミニウム

- ・ 昭和アルミパウダー買収
 - ・ 自動車、家電・プラスチック向けペースト事業拡大
- ・ 加工箔事業強化
 - ・ 食品、医薬品向け包材シェアアップ
- ・ コンデンサ、電池向け各種箔拡販
 - ・ LiB電池向け材料拡販・・・正極材、外装用プレーン箔
 - ・ トーヤルカーボ(機能性固体高分子コンデンサ陰極用)拡販



PTP
(Press-Through-Package)



トーヤルロータス
(撥水性加工箔)



LiB外装用プレーン箔

業界No.1ビジネスの強化(3)



日本フルハーフ

- ・ ユニーク商品の開発
 - ・ ISOコンテナデータセンター
 - ・ コンテナ野菜工場
 - ・ 次世代アルミトレーラ
- ・ グループ横串による高効率・軽量冷凍機開発
 - ⇒ 温度管理車シェアアップ



ISOコンテナデータセンター



次世代アルミトレーラ



日本電極

- ・ 高炉用高靱性カーボンブロックの開発終了
 - ⇒ 高炉用ブロック世界シェアNo. 1キープ
- ・ アルミ製錬用低電気抵抗カソードブロックの開発
 - ⇒ 海外製錬工場の実証試験中



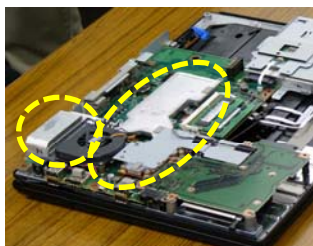
高炉用カーボンブロック

成長分野への注力

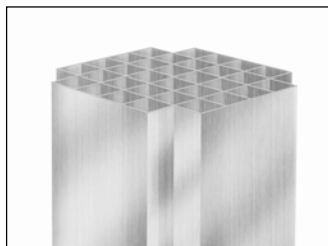


継続的な新商品の投入

板、押出製品



ノートパソコン用
小型液冷ジャケット



MAXUS (イメージ)
(キャスク用中性子吸収材)



PAL-fit
(アルミ樹脂接合)



パワーモジュール用
回路基板一体型冷却器

メタル素形材



LEDヘッドライトヒートシンク



自動車用アルミ電線

NLMエカル



シェルター型データセンター

アルミにこだわり、 アルミを超えていく

 **NLM 日本軽金属株式会社**

本資料についての注意事項

1. 本資料は2012年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

第2四半期決算 — 期初予想比



第2四半期 連結累計期間

(億円)

	2011/4-9 実績	2011/4-9 期初予想	差異
売上高	2,061	2,000	+61 (+3.1%)
営業利益	91	80	+11 (+13.4%)
経常利益	60	50	+10 (+19.7%)
当期純利益	35	30	+5 (+16.8%)

経常利益



(億円)

	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	前年同期比	2011/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	60	93	△33	50	+10

(億円)

前年同期比 △33億円 の内訳	
営業利益の減少	△39
持分法損益の改善	+3
その他	+3

(億円)

期初予想比 +10億円 の内訳	
営業利益の増加	+11
支払利息の減少	+2
その他	△3

当期利益



(億円)

	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	前期比	2011/4-9 期初予想	期初予想比
当期損益	35	42	△7	30	+5

(億円)

前年同期比 △7億円 の内訳	
経常利益の減少	△33
特別損失の減少	+6
税金費用の減少	+16
少数株主利益の増加	+4

(億円)

期初予想比 +5億円 の内訳	
経常利益の増加	+10
特別損失の計上	△6
税金費用の減少	+3
少数株主利益の減少	△2

セグメント情報 — 期初予想比



※ 期初予想値については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

	売上高			営業利益		
	2011/4-9 実績	2011/4-9 期初予想	差異	2011/4-9 実績	2011/4-9 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	496	430	+66 (+15.5%)	32	30	+2 (+5.4%)
板、押出製品	367	360	+7 (+2.0%)	14	15	△1 (△6.6%)
加工製品、 関連事業	622	590	+32 (+5.4%)	22	5	+17 (+338.2%)
箔、粉末製品	576	620	△44 (△7.1%)	36	45	△9 (△19.1%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△13	△15	+2
合 計	2,061	2,000	+61 (+3.1%)	91	80	+11 (+13.4%)

設備投資・減価償却費 — 前年同期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	増減	2011/4-9 実績	2010/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品、地金	35	12	+23	19	18	+1
板、押出製品	18	17	+1	20	20	0
加工製品、関連事業	11	9	+2	17	17	0
箔、粉末製品	35	29	+6	27	22	+5
合計	99	67	+32	83	77	+6

通期業績予想 — 期初予想比



(億円)

	2011年度 予想	2011年度 期初予想	増減
売上高	4,100	4,200	△100 (△2.4%)
営業利益	175	200	△25 (△12.5%)
経常利益	115	145	△30 (△20.7%)
当期純利益	65	85	△20 (△23.5%)
有利子負債	1,930	1,966	△36
ネットDEレシオ	1.6倍	1.5倍	—
R O C E	5.6%	6.9%	△1.3p

セグメント情報 — 期初予想比



※ 期初予想値については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

	売上高			営業利益		
	2011年度 予想	2011年度 期初予想	差異	2011年度 予想	2011年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	1,010	930	+80 (+8.6%)	55	65	△10 (△15.4%)
板、押出製品	735	750	△15 (△2.0%)	30	35	△5 (△14.3%)
加工製品、 関連事業	1,240	1,205	+35 (+2.9%)	45	30	+15 (+50.0%)
箔、粉末製品	1,115	1,315	△200 (△15.2%)	75	100	△25 (△25.0%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△30	△30	0
合 計	4,100	4,200	△100 (△2.4%)	175	200	△25 (△12.5%)

主要会社の業績予想 — 期初予想比



(億円)

	2011年度 予想				2011年度 期初予想			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	1,349	16	34	35	1,338	30	37	36
東洋アルミニウム (連結)	1,122	74	60	35	1,315	102	99	56
日軽エムシーアルミ (連結)	485	6	5	4	446	5	4	2
日本フルーフ (連結)	436	14	11	5	381	4	1	0
日軽金アクト	323	17	18	12	298	13	15	11

設備投資・減価償却費 — 期初予想比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2011年度 予想	2011年度 期初予想	増減	2011年度 予想	2011年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、地金	120	131	△11	40	40	0
板、押出製品	42	41	+1	35	35	0
加工製品、関連事業	38	42	△4	40	40	0
箔、粉末製品	69	121	△52	50	50	0
合計	269	335	△66	165	165	0

通期業績予想 — 前回(7/29)予想比



(億円)

	2011年度 予想	2011年度 前回予想	増減
売上高	4,100	4,300	△200 (△4.7%)
営業利益	175	220	△45 (△20.5%)
経常利益	115	175	△60 (△34.3%)
当期純利益	65	100	△35 (△35.0%)

セグメント情報 — 前回(7/29)予想比



※ 2010年度については、押出加工関連の子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替え後の数値となっています。 (億円)

	売上高			営業利益		
	2011年度 予想	2010年度 前回予想	差異	2011年度 予想	2010年度 前回予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	1,010	1,025	△15 (△1.5%)	55	65	△10 (△15.4%)
板、押出製品	735	780	△45 (△5.8%)	30	40	△10 (△25.0%)
加工製品、 関連事業	1,240	1,245	△5 (△0.4%)	45	40	+5 (+12.5%)
箔、粉末製品	1,115	1,250	△135 (△10.8%)	75	105	△30 (△28.6%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△30	△30	0
合 計	4,100	4,300	△200 (△4.7%)	175	220	△45 (△20.5%)

日軽グループの事業領域

